



軒の浦学園だより

No.19
2024年(令和6年)2月5日



誰もが自分らしく安心して生活できる学園を創りたい。

暦の上では春となりましたが、まだ寒い日が続いています。昨年実施したPTA教育講演会を聞き、学園会で話し合いを行いました。その話し合いを受け、学園会会長から次のような相談がありました。内容は「誰もが自分らしく生活できる学園にするために、制服について考えていきたい。女子の制服をスカートに加え、スラックスも選択できるようにしたい。そうすることで、機能的に動きやすい、冬に防寒ができる、自分らしく生活できるようになる」との提案でした。私自身も同感で実現させたいと考えました。その後、PTA本部代表、学園会役員、校長・教頭で会を開き、学園会からの提案を受けて意見を交流し、制服にスラックスを加えることにしました。学園会の「誰もが自分らしく安心して生活できる学園を創りたい」という思いに寄り添っていただける大人でありたいと思います。保護者・地域の皆様、ご理解いただきますようお願い致します。

～言葉って不思議～

1年生の教室に「ふわふわことば」「チクチクことば」が掲示してあります。「ふわふわことば」とは、言われると嬉しくなったり励まされる言葉であり、「ちくちくことば」は悲しくなったりがっかりする言葉です。言葉は不思議な力を持っています。

【ふわふわ】 ありがとう、すごいね、だいじょうぶ	【チクチク】 ばか、あほ、きらい、どっかいけ
-----------------------------	---------------------------

他者に向けた言葉以外に、自己への言葉もあります。その言葉は気持ちを高めたり、目標達成をサポートしたりしますが、反対にNGワードもあります。(参考「世界一やさしい自分を変える方法」脳科学者 西剛志氏)

- 「わからない」と発した瞬間に思考停止してしまう。
「もしわかるとしたら、どんな方法があるかな？」と自分に問うと、脳がわかることを前提に考えようとする。
- 「できない」と発すると、脳はできない状態をイメージし、思考がフリーズする。
- 「知っている」は意外なNGワード。
「それはもう知っている」と思った瞬間に、脳はこれ以上学習する必要はないと判断してしまう。知っている話でも、謙虚に最後まで聞いてみる姿勢が必要。

子ども達の成長や活躍を願い、子ども達が前向きになり成長できる言葉、自らがポジティブになれる言葉を大切に使用したいと思います。

心の中に「わくわく！」があるから、私達は一生懸命になれます。



今月17日に実施する「こども商店街」に向けて、2・3年生を中心に準備を進めています。大学生とコラボして作った緑台「えんだら〜」が登場します！先日も地域にチラシを配り、積極的にアピールしました。当日は他学年の有志も参加します。軒先に緑台が並び、人々が憩いの場として集まった風景が再現されます。日々の学びを生かし、郷土を愛する心を養います。



今月の牛乳パックには、イワシとヒイラギが飾られていました！



1年「ふわふわことば」と「チクチクことば」。優しい言葉がいいね。



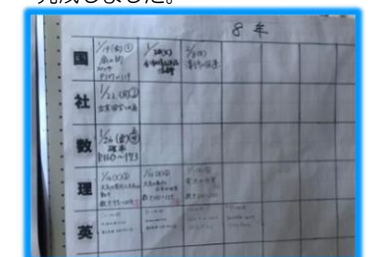
2年「まどからこんにちは」が完成しました。



9年教室には、いよいよ「卒業カレンダー」が登場しました。




4年、このボードに釘を打ちつけて、パチンコを作ります。



3学期の単元テスト計画が掲示されています。見通しを持って！

9日は授業参観&学級懇談です。

今年度最後の授業参観と学級懇談が行われます。この1年間で成長した子ども達の姿をぜひご覧ください。また、懇談会では次年度の学級役員を選出いたします。お忙しいところではございますが、どうぞご参加ください。



2年生はグループで発表する予定です。